

一般社団法人 群馬県診療放射線技師会

群放技 会報

巻頭言 ～医療放射線安全管理責任者になろう～



会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より群馬県診療放射線技師会の運営・活動にご支援をいただき有難うございます。この度2019年5月31日の第79回定時総会及び理事会にて会長を拝命いたしました。2期目となり新体制での船出となりますが、皆様にはこれまで以上にご理解、ご協力をお願い致します。

さて、我々の業務において今最も関心のあるテーマは医療法の一部改正（2020年4月施行）における医療放射線安全管理ではないでしょうか。この法改正ではX線装置を有する医療機関等施設すべてに、医療放射線安全管理責任者を配置することが義務付けられます。診療放射線技師も条件付きではありますが、施設において医療放射線安全管理責任者となることが認められました。（当初は医師、歯科医師に限るということでした。）

この決定は診療放射線技師が社会において認知されうる良い機会だと思えます。放射線科が舞台となっているドラマも注目を集めていますが、我々の職種としての地位向上に追い風になっています。会員の皆様には是非とも勤務されている施設で声を上げて、手を挙げて「医療放射線安全管理責任者は診療放射線技師に任せて下さい」とお願いしてください。放射線科医が常駐していない施設が多数を占めており、実際の責任者としての業務内容に照らし合わせても、診療放射線技師が最も適任であると言えます。しかし、医療放射線安全管理責任者ってどういったものか、来年の施行に対して何をどうすればいいかわからないといった声も聞こえてきております。日本診療放射線技師会でも現在厚生労働省からガイドライン作成について意見を求められており、なるべく早い時期に指針のひな型やQ&Aを公表する予定です。群馬県診療放射線技師会も日本診療放射線技師会と連携し、講習会の開催等を含め会員の皆様に情報提供していきます。

また2020年6月に関東甲信越学術大会が群馬が担当県として高崎にて開催されます。大会テーマを「心伝える今動き出す～安心できる医療をここから～」とさせていただきましたが、まさにこのテーマにも当てはまる業務にもなり得ると確信しております。

今後医療界においては、医師の働き方改革に伴うタスク・シフティングが加速していくものと思われます。我々は診療放射線技師としてこの時代の流れをつかみ、将来に向けてより一層飛躍していかなければなりません。群馬県診療放射線技師会理事・監事一同、微力ながら会員の皆様のお役に立てるよう活動してまいります。宜しくお願い致します。

新理事及び新執行部紹介

総会終了後に一般社団法人群馬県診療放射線技師会定款第22条に基づき、役員の選出が行われ以下のように決定しました。

会長 : 後閑 隆之 (沼田クリニック)
副会長 : 嶋田 博孝 (群馬大学医学部附属病院)
五十嵐 博 (群馬県立県民健康科学大学大学院)



後閑



嶋田



五十嵐

前橋地区

○財務部長 : 村上 隆 (群馬中央総合病院)
○総務部長 : 川島 康弘 (前橋赤十字病院)
○学術研修部長 : 青木 里佳 (石井会渋川伊香保分院)
○福利厚生部長 : 井野 利彦 (群馬県立心臓血管センター)
○放射線管理部長 : 安藤 大輔 (前橋赤十字病院)
総務部員 : 櫻井 昇幸 (群馬県健康福祉部保健予防課)
学術研修部員 : 佐藤 猛 (群馬県健康づくり財団)



村上



川島



青木



井野



安藤



櫻井



佐藤

東毛地区

- 放射線管理部員 : 武田 久 (伊勢崎市民病院)
- 編集部員 : 飯塚 知也 (桐生厚生総合病院)
- 教育部長 : 米持 圭太 (群馬県立県民健康科学大学)
- 編集部長 : 岩宗 裕人 (館林記念病院)
- 教育部員 : 干川 重光 (太田記念病院)
- 教育部員 : 市川 和彦 (慶友整形外科病院)



武田



飯塚



米持



岩宗



干川



市川

西毛地区

- 表彰委員 : 中山 正人 (ソフィアクリニック)
- 女性部長 : 高柳 美希 (栗原レントゲン株式会社)
- ホームページ担当 : 丸山 星 (群馬パース大学)
- 財務・総務部員 : 神場 紀仁 (日高病院)



中山



高柳



丸山



神場

北毛地区

- 組織部長 : 目崎 聡 (沼田脳神経外科循環器科病院)
- 渉外広報部長 : 内村 清香 (原町赤十字病院)
- 表彰委員長 : 川上 裕 (粟生楽泉園)



目崎



内村



川上

活動報告

第5回 マンモグラフィポジショニング研修会の報告

女性部 小菅 竹美

女性部主催によるマンモグラフィポジショニング研修会を6月2日(日)に群馬県健康づくり財団にて開催致しました。前回までと同様にぐんまマンモグラフィ向上委員会様に講師のご協力をいただきました。

第5回を迎えた今回は、近隣の埼玉県・栃木県・新潟県・茨城県へも参加対象を拡大したこともあり、定員を超える応募があり、その応募者全員23名(うち他県4名)を受け入れ、大盛況の研修会となりました。研修会の内容は講義・実習・画像評価の3部に分けて進行しました。



講師からポジショニングの重要性や要点の講義を受け、その後の実習ではポジショニングでの癖や改善点、注意点などを丁寧に指導して頂きました。初めは緊張していた参加者からも徐々に質問が増え、活発な研修会となりました。また参加者の真剣な姿勢から、意識の高さを感じ、モチベーションが上がる研修会になったのではないかと思います。

研修会後参加者からは『講義と実習を踏まえてからの自身の画像評価と良い流れで理解しやすく、すぐにでも試したい』と意見を頂きました。

マンモグラフィポジショニング研修会の特徴は少人数実習形式です。1班3から4名と少人数制で質問しやすい環境のもとで、講師のきめ細やかな指導を受けられるようにしています。ご自身のポジショニングが自己流になっていないか、うまくいかないことが多いなど感じている方だけでなく、マンモグラフィに携っているみなさんに是非参加いただきたい内容にしています。一緒に技術を磨いてみませんか？

次回は来年度開催予定です。詳細は群馬県診療放射線技師会ホームページで随時発信していきます。

また女性部ではFacebookでも情報を発信しています。QRコードから閲覧できます。



みなさんの「いいね」お待ちしております。

※ 渉外広報部、ホームページ等のお知らせは、下記のメールアドレスにてお願いします。

問い合わせメールアドレス webstaff@gunmart.jp

群馬県診療放射線技師会 ホームページアドレス <http://www.gunmart.jp/>

ホームページ担当 : 群馬パース大学 丸山 星

編集責任者 : 館林記念病院 岩宗 裕人

発行責任者 : 群馬県診療放射線技師会会長 後閑 隆之

事務局 : 〒371-0022

前橋市千代田町1丁目7-4

(群馬メディカルセンター内)

